

普通ごみ
粗大ごみ(小型)
粗大ごみ(大型)



ごみは、どこを見て分けたらいいの??

たて・よこ・高さの1番長いところを測って、30cm未満・1m未満・1m以上で判断するんだ。



1) どんなもの?

普通ごみ

● たて・よこ・高さの1番長いところが30cm未満のごみ

粗大ごみ(小型)

● たて・よこ・高さの1番長いところが30cm以上1m未満のごみ

粗大ごみ(大型)

● たて・よこ・高さの1番長いところが1m以上のごみ
(ただしいずれか一辺が1m未満でなければ、収集できません)

リサイクルにご協力ください

● 小型家電は、宅配回収サービスや拠点回収もご利用ください。

➡ 詳細は、小型家電 (P16)

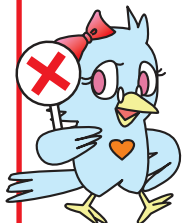
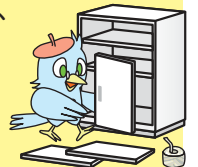
● 蛍光管・電池類については、拠点回収もご利用ください。

➡ 詳細は、水銀使用製品 (P16)



組立式の家具やプラスチック類で、

分解が容易なものは、できるだけ分解して、紐などで結束してください。その場合、結束した後の大きさを判断してください。



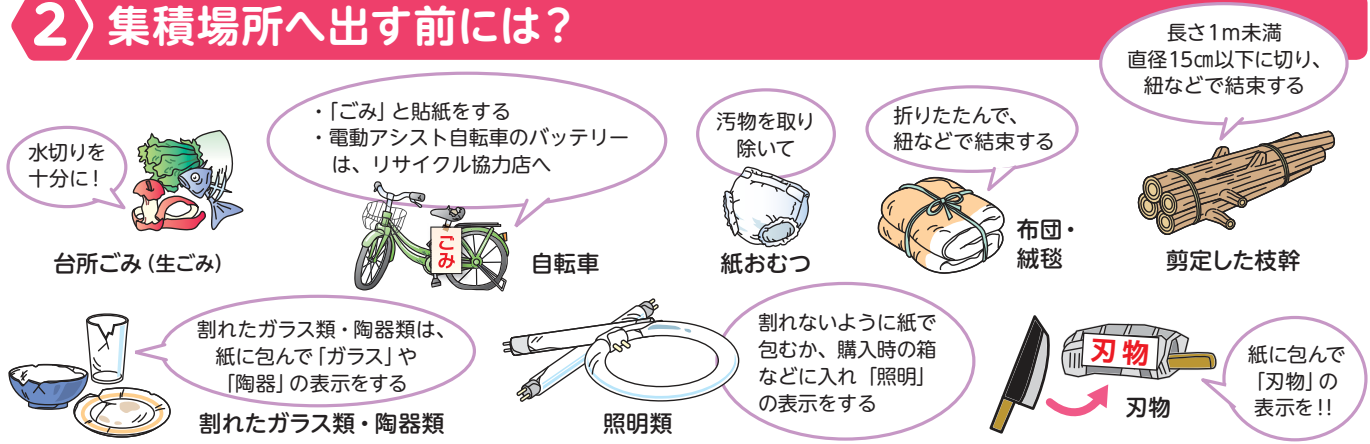
● 家電リサイクル法対象品目(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン)は、ごみ集積場所には出せません。 ➡ 詳細は、家電リサイクル法対象品目 (P15)

● パソコンは、ごみ集積場所には出せません。 ➡ 詳細は、パソコン (P15)、小型家電 (P16)

● 処理が困難なピアノ、金庫、土・砂、ブロック・コンクリートなどは収集できません。

➡ 詳細は、市では収集できないごみ (P17)

2 集積場所へ出す前には？



カセットボンベ・スプレー缶類は、完全に使い切り、穴をあけて下さい!

穴をあける時は扱い方を間違えると、爆発や火災など、大きな事故につながります。安全のため、ガス抜きや穴をあける作業は、必ず屋外で、また風通りがよく火気のない場所で作業を行うようにしてください。

★不要なライターもガス抜きしてから捨てましょう!



- 見られたくないごみは、必要最小限の新聞紙などで包んでください。

3 集積場所へ出すときは？

- 普通ごみは中身の見える45ℓまでの透明袋で、袋の口をしっかりと結んで出してください。
- 粗大ごみ(小型)、粗大ごみ(大型)は袋や段ボール箱などに入れず、そのまま出してください。
- 1家庭1回につき普通ごみは3袋、粗大ごみは3点までです。一度に多量に排出される場合は、通常収集では収集できません。臨時ごみ収集(有料)の申込みが必要です。

➡ 詳細は、臨時ごみ(P13)

- スプリング入りマットレスは、臨時ごみ収集(有料)の申込みが必要です。

➡ 詳細は、臨時ごみ(P13)

- つぎのものは、他のごみとは分け、貼紙をしたうえで、集積場所内でもその貼紙が見えるようにして出してください。

- ◆ 割れたガラス類・陶器類・照明類、刃物 → 貼紙には“品目”を表示
- ◆ カセットボンベ・スプレー缶類 → 貼紙には“穴あけ済み”と表示
- ◆ 使い捨てライター → 貼紙には“ガス抜き済み”と表示

こうしておく、危険なものがすぐに分かるね



カラスによる被害を防ぐには

生ごみは隠して排出する

生ごみは見えないように新聞紙や紙袋で包むなど、中身が見えないようにしてから、中身の見える45ℓまでの透明袋に入れましょう。

また、地味な色のごみをなるべく外側にし出すようにすると狙われにくくなります。カラスは視覚で判断し、狙いを定めます。



防鳥ネットでごみをしっかり覆う

市ではごみ集積場所を管理している自治会や地域の団体に、防鳥ネットの貸し出しを行っています。➡ 詳細は、貸与物品(P18)

ネットのサイズが小さかったり、横にすき間があったりすると、そのすき間からカラスが入り込んでごみを荒らしてしまいます。ネットは、ごみ全体を覆い、ペットボトルの重しなどですき間ができない工夫をして、効果的に使用してください。

